

福岡市立博多工業高等学校

〒814-0155 福岡県福岡市城南区東油山4-20-1 ☎092-862-6575

活動団体 インテリア科ビジュアルデザインパート 活動人数 6人 主な活動時間 授業の一環として

油山地域活性プロジェクト 油山ブランド“Memento森”

きっかけ

海に開かれた九州最大の都市、福岡市には、豊かな森林も広がる。ところが「人工林の大部分が伐採の時期を迎えている一方、人手不足などで山林の荒廃が進んでいる」と、博多工業高校インテリア科の3年生は危機感を持った。

学校の裏山である油山には古くからツバキが自生し、その恵みを使って人々は生活を営んでいた。そこで生徒たちは、課題研究の時間を利用して、間伐材を使った製品開発と、森林の重要性を発信する活動を計画した。



福岡タワーのイベントに展示・出品し、2000人の来場者へ広く木の魅力をアピールした。

活動内容

まず、油山の間伐材を使った製品作り。インテリア科ならではの木材加工の知識と設備を使い、木の魅力を引き出した“一点もの”の木製品を製作。ブランド化にも取り組み、“森と街をつなぐブランドというコンセプトで、「Memento森」というブランド名に決め、ロゴマークは商標登録した”。地域の歴史・文化とつながった共有財産である油山の森と、森林への理解や持続的循環、地球環境保護など近年の世界的課題を発信する意図もある。

活動は福岡市農林水産局森林・林政課や、油山市民の森公園管理事務所の協力を得ることができた。高校生たちは農水局関連イベントに協力するなど、貴重な学びの場を広げている。



油山市民の森公園管理事務所とパートナーシップによる連携協力をした。

成果

学校内外で木や森と向き合いながら、生徒たちは「身近な山林や貴重な市産材の価値、多くの課題と社会的な問題に気付くことができました」「他の業種や機関との連携によって、できることが広がりました」と手応えを語る。

女子商マルシェでの販売や百貨店でのコースター配布活動を行い、使い手を拡大。さらに「Memento森」ブランドの収益から20万円を植林のために寄付することを予定しており、木を「植える」「育てる」「伐採する」「加工する」「使う」というサイクルが、再び始まるうとしている。

活動エピソード

福岡タワーで開催された、木や森に親しむことをテーマにしたイベントに参加し、「Memento森」ブランドの製品を出品。「木の魅力を日常生活に広める活動に共感した」「木のぬくもりや風合いがとても良い」など、好評の声を受けた。

今後の展望

市、森林組合、森林所有者、林業、木材産業、企業、NPO、市民、その他関係機関などと連携を深めながら、「Memento森」ブランドについて、より多くの人々が共感して、森とつながる生活を広げることが目標。福岡市産材の利用を起点に、持続可能な循環の輪を大きくしていきたい。